

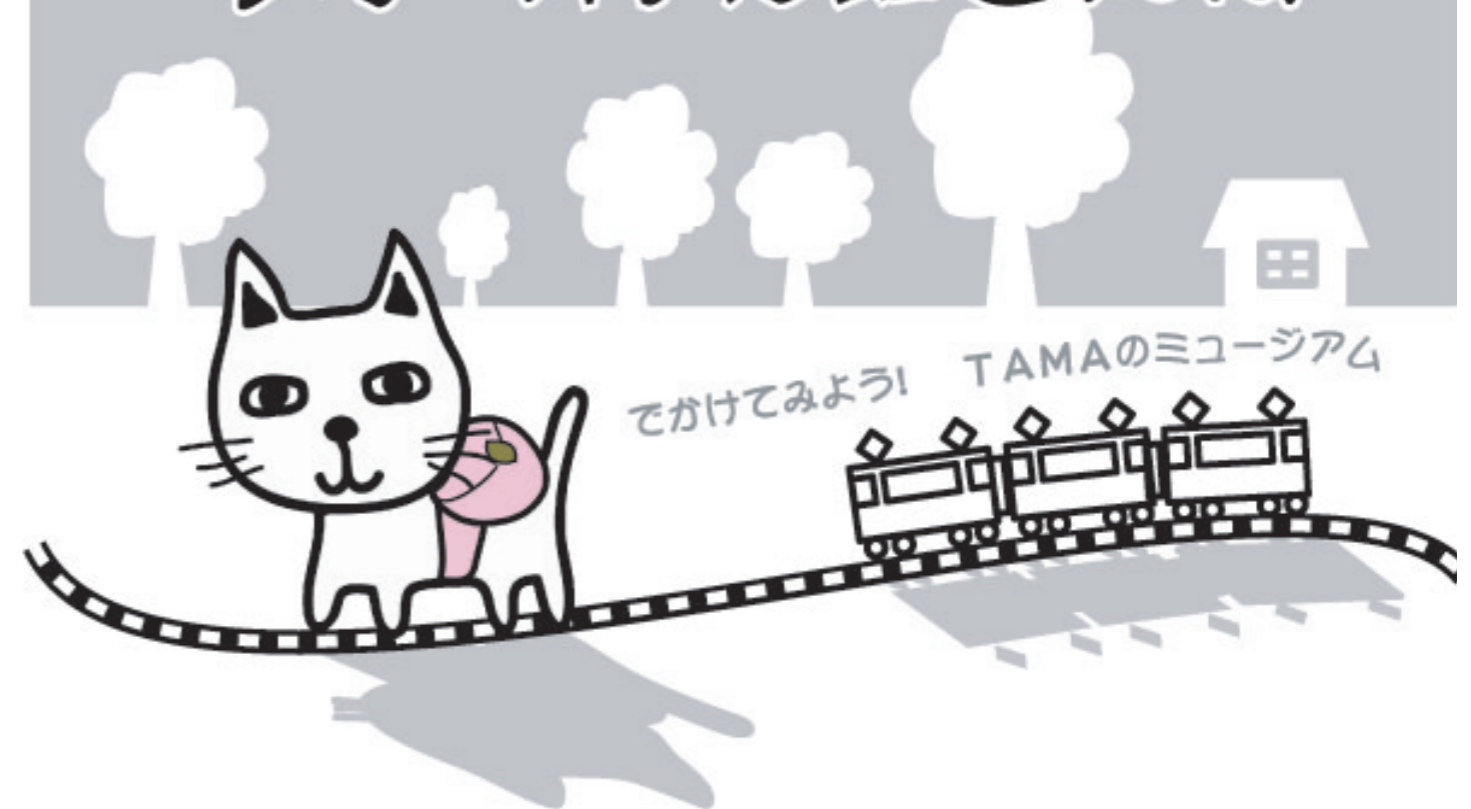
三多摩公立博物館協議会加盟館一覧

No.	館名	住所	電話	交通
1	奥多摩水と緑のふれあい館	〒198-0223 東京都西多摩郡奥多摩町原 5	0428-86-2731	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	〒190-0211 東京都西多摩郡檜原村 3221	042-598-0880	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から小岩行きか藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	御岳美術館	〒198-0173 東京都青梅市御岳本町 1-1	0428-78-8814	JR 青梅線「御嶽駅」下車徒歩 20 分
4	青梅市郷土博物館	〒198-0053 東京都青梅市駒木町 1-684	0428-23-6859	JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 12 分
5	あきる野市五日市郷土館	〒190-0164 東京都あきる野市五日市 920-1	042-596-4069	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
6	羽村市郷土博物館	〒205-0012 東京都羽村市羽 741	042-558-2561	① JR 青梅線「羽村駅」西口下車徒歩 20 分 ② 東口コミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
7	八王子市子ども科学館 (サイエンスドーム八王子)	〒192-0062 八王子市大横町 9-13	042-624-3311	JR 中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 1 分。
8	八王子市郷土資料館	〒192-0902 東京都八王子市上野町 33	042-622-8939	京王線「京王八王子駅」または JR 中央線「八王子駅」からバス「市民会館」下車
9	集合住宅歴史館 (独立行政法人 都市再生機構 技術研究所)	〒192-0032 東京都八王子市石川町 2683-3	042-644-3751	① JR 八高線「北八王子駅」下車徒歩 10 分② JR 八王子駅より大和田、東海大学病院経由 宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩 5 分
10	福生市郷土資料室	〒197-0003 東京都福生市熊川 850-1	042-530-1120	JR 青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩 7 分
11	瑞穂町郷土資料館	〒190-1211 東京都西多摩郡瑞穂町石畑 1962	042-568-0634	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 18 分
12	武蔵村山市立歴史民俗資料館	〒208-0004 東京都武蔵村山市本町 5-21-1	042-560-6620	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩 1 分
13	立川市歴史民俗資料館	〒190-0013 東京都立川市富士見町 3-12-34	042-525-0860	JR 中央線「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車徒歩 5 分
14	日野市郷土資料館	〒191-0042 東京都日野市程久保 550	042-592-0981	① 多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分② モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
15	東大和市立郷土博物館	〒207-0031 東京都東大和市奈良橋 1-260-2	042-567-4800	西武拝島線「東大和市駅」からイオンモール行きバス「八幡神社」下車徒歩 2 分
16	東村山ふるさと歴史館	〒189-0021 東京都東村山市諏訪町 1-6-3	042-396-3800	西武新宿・国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分
17	国立ハンセン病資料館	〒189-0002 東京都東村山市青葉町 4-1-13	042-396-2909	西武池袋線 清瀬駅南口から 西武バス 久米川駅行き・所沢駅行きで約 10 分 (「ハンセン病資料館」で下車)
18	くにたち郷土文化館	〒186-0011 東京都国立市谷保 6231	042-576-0211	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 8 分
19	たましん歴史・美術館	〒186-8686 東京都国立市中 1-9-52	042-574-1360	JR 中央線「国立駅」南口前
20	パルテノン多摩 歴史ミュージアム	〒206-0033 東京都多摩市落合 2-35	042-375-1414	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
21	東京都埋蔵文化財センター	〒206-0033 東京都多摩市落合 1-14-2	042-373-5296	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
22	町田市立博物館	〒194-0032 東京都町田市本町田 3562	042-726-1531	小田急線・JR 横浜線「町田駅」から藤の台団地行きバス「市立博物館前」下車徒歩 7 分
23	府中市郷土の森博物館	〒183-0026 東京都府中市南町 6-32	042-368-7921	京王線・JR 南武線「分倍原駅」から京王バス郷土の森総合体育館行きバス「郷土の森正門前」下車
24	小金井市文化財センター	〒184-0003 東京都小金井市緑町 3-2-37	042-383-1198	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口からココバス北東部循環③「小金井公園入口」下車 徒歩 5 分
25	江戸東京たてもの園	〒184-0005 東京都小金井市桜町 3-7-1	042-388-3300	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口からバス 7 分「小金井公園西口」下車
26	東京農工大学科学博物館	〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163	JR 中央線「東小金井駅」南口下車徒歩 9 分
27	清瀬市郷土博物館	〒204-0013 東京都清瀬市上清戸 2-6-41	042-493-8585	① 西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩 10 分 ② 駅北口バス乗り場 1 番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
28	多摩六都科学館	〒188-0014 東京都西東京市芝久保町 5-10-64	042-469-6100	① 西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩 18 分 ② 西武新宿線「田無駅」北口よりはなバス多摩六都科学館行き
29	調布市郷土博物館	〒182-0026 東京都調布市小島町 3-26-2	042-481-7656	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
30	国立天文台天文機器資料館	〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1	0422-34-3600	中央線武蔵境駅南口から小田急バス「狛江駅行き」天文台前下車、京王線調布駅北口から小田急バス「武蔵境駅南口行き」天文台前下車

催し物案内2012年度春・夏号

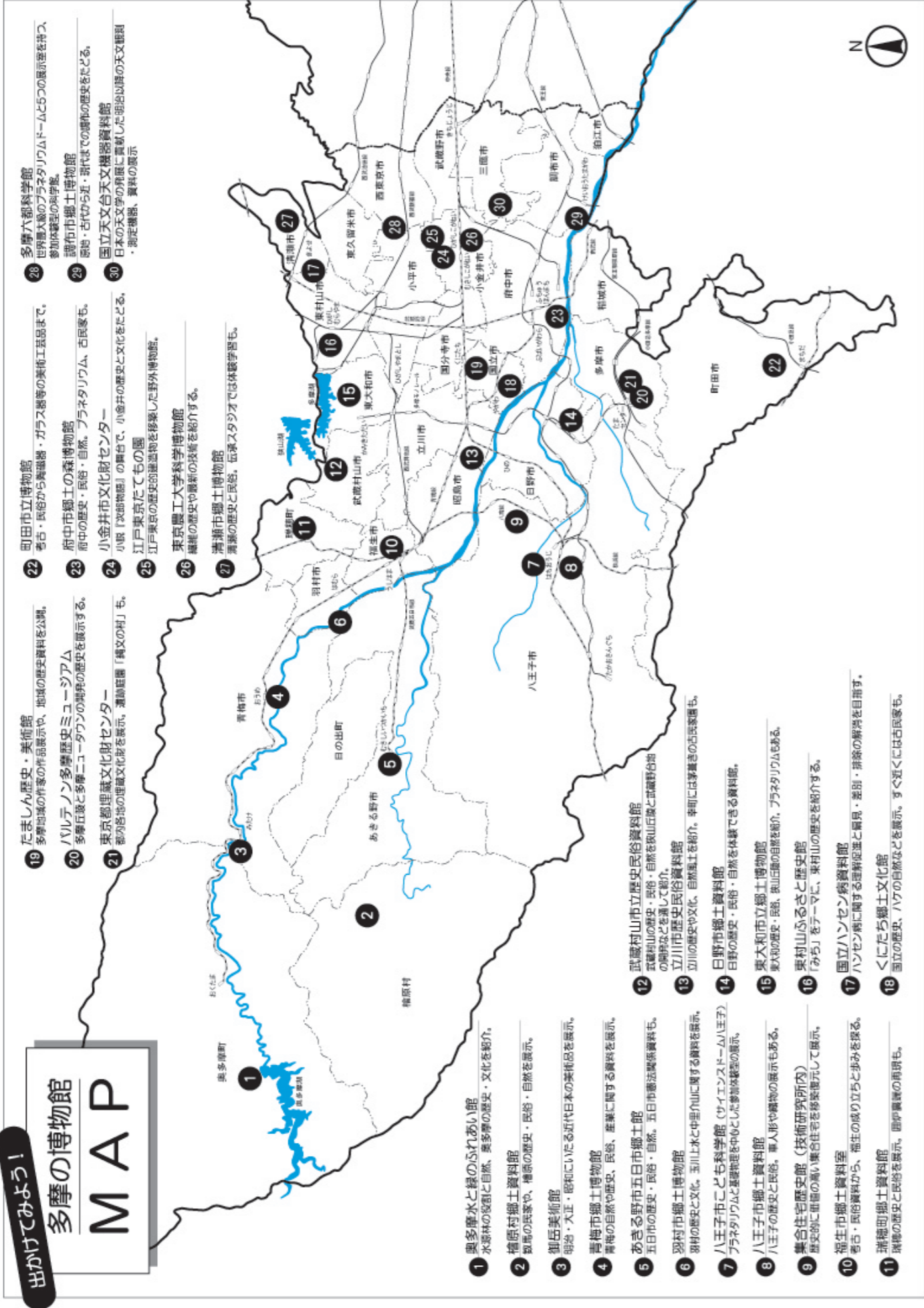
2012年4月～9月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)は、随時新しい情報を公開しています。

お出かけの際は、各博物館の展示やイベントをチェックしてください!



この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

29 調布市郷土博物館 (042-481-7656)
 原始・古代から近・現代までの調布の歴史をたどる。

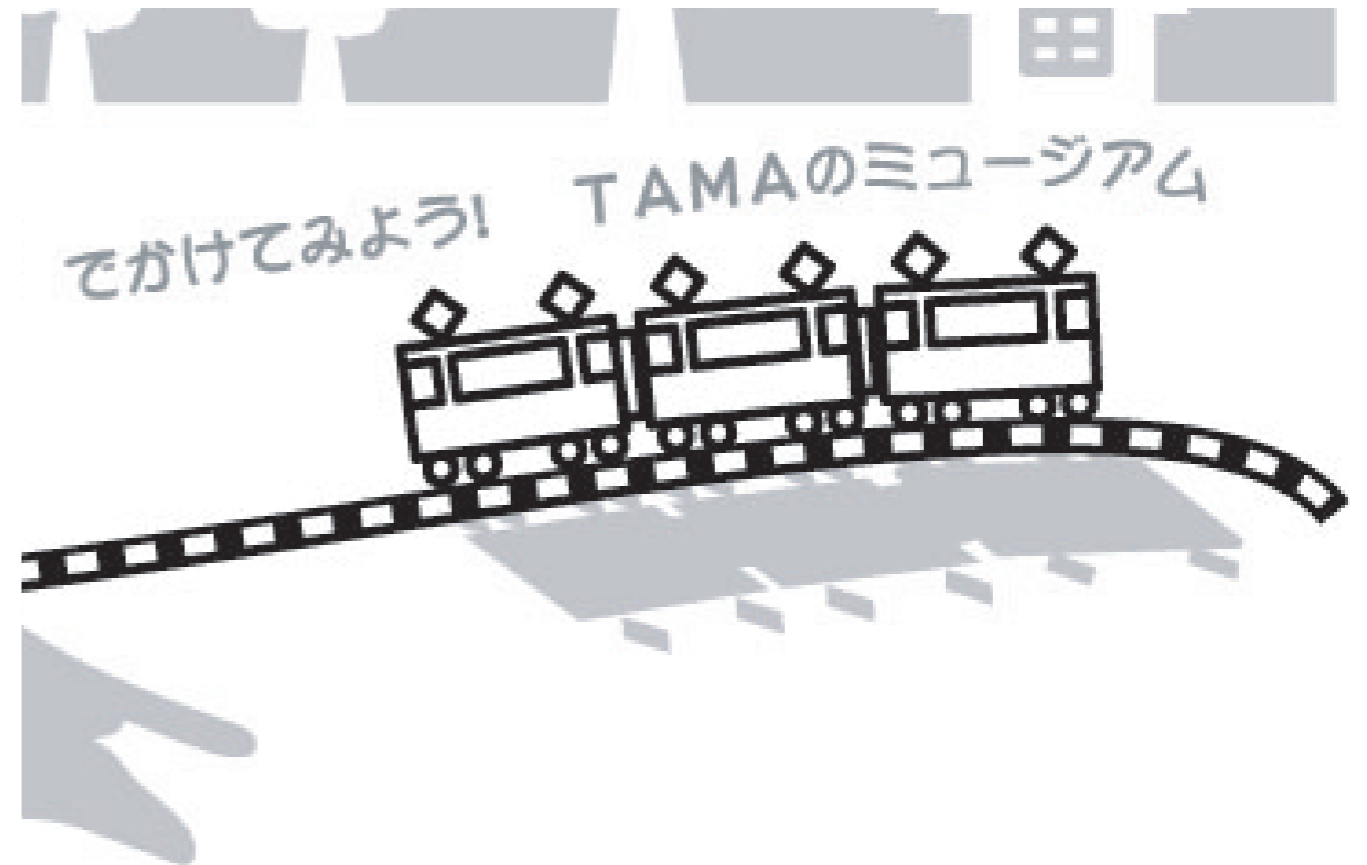
開館時間	9:00 ~ 16:00	休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日)、12.29 ~ 1.3	入館料	無料
------	--------------	-----	----------------------------	-----	----

●郷土学習展「ちょっと昔のくらし～テレビから生まれたヒーロー」(～4.15) 民放ラジオの放送開始から2年後の昭和28(1953)年に、テレビ放送が開始された。戦後の高度経済成長期に「三種の神器」と呼ばれた電化製品のひとつであるテレビからは、次々と新しいヒーローが生まれた。懐かしのヒーローたちと、そのころの生活を振り返る。
 ●企画展「日活映画と調布」(8.5～10.14) 日活100年である9月を中心に、映画のまち・調布の歴史をふりかえる。
 【URL】 <http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html>

30 国立天文台天文機器資料館 (0422-34-3600)
 日本の天文学の発展に貢献した明治以降の天文観測・測定機器、資料の展示。

開館時間	10:00 ~ 17:00	休館日	年末年始 (12.28 ~ 1.4)	入館料	無料
------	---------------	-----	--------------------	-----	----

●国立天文台では、2011年6月から登録文化財コース、重要文化財コースの2つのガイドツアーを毎週火曜日に実施していますが、2012年4月から重要文化財コースを拡大し、広大な官舎跡地に点在する測地学関係の史跡を含めたガイドツアーを第2、第4日曜日13時30分から実施します。これは、ガイドツアーを休日に実施してほしいとの要望が強いことに答えたもので、重要文化財、平地にある一等三角点、菱形基線、基線尺比較室跡、三鷹国際報時所跡など巡るコースです。詳しくは国立天文台ホームページをご覧ください。
 【URL】 http://www.nao.ac.jp/about/mtk/visit/shisetsu_koukai.html



24	小金井市文化財センター (042-383-1198)				
	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3 館内整備のための臨時休館日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。市内の考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。 ●季節展季節展「小金井桜」(4.3～5.6) 					
【URL】 http://tamahaku.jp/kojin/					

25	江戸東京たてもの園 (042-388-3300)				
	江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。				
開館時間	9:30～16:30(入園は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.28～1.4	入館料	大人400円、中(都外)高生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中(都内)無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「万徳旅館にみる暮らしの100年」展(～4.8) 江戸東京たてもの園開園20周年記念特別展「小麦と武蔵野のくらしー人が集まればうどんー」(4.21～7.8) 収蔵品展「武蔵野の歴史と考古学(仮)」展(7.28～12.24) ●子どもの日イベント(5.5・6) 小暑のつどい(7.7・8) 下町夕涼み(8.4・5) ミュージアムトーク(4.28、5.26、6.23、7.28、8.25、9.22) 伝統工芸の実演(4.14・15、5.12・13、6.9・10、7.7・8、8.11・12、9.8・9) 					
【URL】 http://www.tatemonoen.jp/					

26	東京農工大学科学博物館 (042-388-7163)				
	繊維技術・製品の歴史や、本学学術資料の紹介。科学博物館友の会 伝統工芸会による活動。				
開館時間	10:00～17:00(入館は16:00まで)	休館日	日・月曜日、祝日等 8/10～14	入館料	常設展無料
<ul style="list-style-type: none"> ●当館は今年度当初から、耐震改修・機能改善工事を実施しており、長期休館しております。4月から9月までの間、展示会や催し物の開催の予定はありません。 					
【URL】 http://www.tuat.ac.jp/~museum/					

27	清瀬市郷土博物館 (042-493-8585)				
	清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●ミニ展示「学芸員がみた被災ミュージアム」(3.1～4.30) 東日本大震災から1年。被災地の博物館を視察した当館学芸員が撮影した写真と、現地で伺った復興に向けての活動状況等について、パネル形式で展示します。 ●企画展「清瀬ゆかりの芸術家～収蔵美術品展～(仮称)」(6.9～24) 当館で新たに収蔵した作品を中心に、清瀬ゆかりの作家による美術作品を紹介します。 ●企画展「染める・織る・縫う」(7.4～8) 当館の「衣」をテーマにした染物、はたおり、和裁教室の参加者と講師等の作品を紹介します。 					
【URL】 http://www.city.kiyose.lg.jp/					

28	多摩六都科学館 (042-469-6100)				
	《緑と生活の調和》を実現する科学・技術を紹介する生涯学習施設。				
開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで) 7/16～8/31は9:30～17:30(入館は16:30まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 保守点検のための臨時休館日	入館料	大人500円、 小人200円(4歳～高校生)
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示 常設の展示室は「宇宙」「生命」「生活」「地域」「地球」の5つの科学テーマに分かれ、見て、触れて、楽しみながら、科学への興味を深めるハンズオン展示物が約100点あります。体験、観察、工作実験などに夢中になれる科学学習室では個々の学習目的に合わせて科学に親しみを育てるプログラムを実施しています。 ※プラネタリウムドームは7月7日(土)にリニューアルオープンの予定です。リニューアル工事のため、7月6日(金)までプラネタリウムと全天周映画の上映は休止中です。 					
【URL】 http://www.tamarokuto.or.jp					

1	奥多摩水と緑のふれあい館 (0428-86-2731)				
	水源地の役割と歴史・文化・郷土芸能・地場産業等を展示・映像等で分かりやすく紹介。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日(祝日の場合は翌日) 12.28～1.4	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●春のミニコンサート(4.21、22) 正午から2回、計4回 長谷川友代さん等によるソプラノ・ギター・ハープの共演 ●水道週間(6.1～7) 花鉢等の配布 ●ヘブンアーティスト公演(9.15) 午前・午後各1回、計2回 パントマイム等 ●水源郷土芸能公演(9.16) 午前11時～午後2時30分頃予定 小河内の郷土芸能(獅子舞、鹿島踊り) 					
【URL】 http://www.okutama.gr.jp/					

2	檜原村郷土資料館 (042-598-0880)				
	数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。				
開館時間	9:30～17:00 (12月～3月は10:00～16:00)	休館日	火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始 臨時休館6.11～16	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●当館では「自然と観光」「歴史と民族」の2つをテーマに景観や動植物、遺跡発掘時の出土品及び民具並びに兜式入母屋造りと呼ばれる古民家の模型などが展示されております。又、村の祭りを紹介するレーザーディスクや自然の移り変わり及び村の諸行事を収めたDVD「檜原歳時記」(ブルーレイ・ハイビジョン)の鑑賞が常時可能となっております。 ●常設展「自然と観光」「歴史と民族」 ●特別展「夏休み昆虫標本展」(7.19～8.30) 主に檜原村内で採集された昆虫の標本448点を夏休み期間中展示。 					
【URL】 http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/contents/sisetu/siryoukan/siryoukan.ht					

3	御岳美術館 (0428-78-8814)				
	明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。				
開館時間	10:00～16:30 (11月～3月は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	一般500円、高生400円 小中生300円
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示「日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち」 出品作家：荻原守衛、中村彝、中原悌二郎、曾宮一念、高村光太郎、他 ●企画展示「日本近代洋画の流れー明治の絵画ー」(2.26～9.23) 出品作家：浅井忠、鹿子木孟郎、平木政次、他 ●倉田三郎記念室「旅の素描 インドを描く」 ●スケッチの日 桜の日(4.10～12) 当日ご来館の方には、記念品をプレゼント! 					
【URL】 http://www.tamashin.or.jp/mitake.html					

4	青梅市郷土博物館 (0428-23-6859)				
	青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日) 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「幕末青梅」(4.1～8.5) 黒船来航、西南雄藩の倒幕運動…、江戸幕府の力は衰え、国内は大きく混乱します。そんな状況下の青梅で活躍した人物についてスポットをあて、関連する資料を展示、紹介します。 ●収蔵品展「新収蔵品展2012」(8.18～9.30) 平成23年度に寄贈を受けた様々な新収蔵の資料を展示、紹介します。 					
【URL】 http://www.ome-kyo.ed.jp/shakai/kyodo/index.html					

5	あきる野市五日市郷土館 (042-596-4069)				
	五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料も。				
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日 (水曜日が祝日の場合は翌日も) 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●<常設展示(一部変更)> 1階は、歴史・生活・民俗芸能・自然にかかわる資料や、化石などを展示しています。新たに養蚕のコーナーと消防のコーナーを設けました。2階の展示室では、五日市憲法草案、黒八丈に関する資料、考古資料などを展示しています。今回の展示替えでは、憲法関係のコーナーを一部拡充して、五日市憲法や学芸講談会の人たちが討論した討論題目の読み下し文などを追加しました。 ●季節展示「五月人形」「鯉のぼり」(4月中旬～5月末予定) 旧市倉家住宅にて展示 					
【URL】 http://www.city.akiruno.tokyo.jp/index.php?oid=567&dtype=1000&pid=127					

6	羽村市郷土博物館 (042-558-2561)				
	羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は開館) 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「地口行灯100展」(3.25～7.1) 地口絵を100点集めて地口行灯を作りました。地口絵のおもしろさ、美しさ、元句を推理する知的な楽しさが味わえます。 ●季節展示「七夕かざり」(6.29～7.7) 季節に合わせて、七夕飾りを展示します。 ●企画展「(仮称)玉川上水のしくみⅡ」(7.15～12.16) 模型やパネルを使い、玉川上水の仕組みを分かりやすく紹介します。 ●季節展示「お月見かざり」(9.15～9.30) 十五夜に合わせて、お月見かざりを展示します。 <p>【URL】 http://www.city.hamura.tokyo.jp/category/6-0-0-0.html</p>					

7	八王子市こども科学館 (サイエンスドーム八王子) (042-624-3311)				
	プラネタリウムと基礎物理を中心とした参加体験型の展示。				
開館時間	10:00～17:00 (ただし火～金曜 9:00～12:00は団体専用で開館)	休館日	月曜日、祝日の翌日。年末年始	入館料	大人200円 4歳～中学生100円
<ul style="list-style-type: none"> ●5.21に起こる「金環日食」に向けて、4.7～日食前日までプラネタリウム特別番組の投影や学習会などのイベントを開催します。 ●プラネタリウム投影番組「キッズプラネタリウム」、「ちきゅうをみつめて」、「ドラえもん宇宙ふしぎ大探検」、「銀河鉄道の夜」(4.13～7.16)、特別番組「みんなで見よう!金環日食」(4.7～5.20)、「今夜の星空解説」もあります。投影番組、時間に変更が生じることがありますので、詳細はホームページ等でご確認を。 ●金環日食学習会(4.21・22、5.12・13・19・20) ※内容は同一 ●事前太陽観望会(5.13・20) ●HOGージ鉄道模型走行会(4.7・8) ●科学工作教室、科学実験ショー、おもしろ生きもの講座、かんたん工作室など(土・休日開催) <p>【URL】 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/gakushu/sciencedome/</p>					

8	八王子市郷土資料館 (042-622-8939)				
	八王子の歴史と民俗。車人形や織物の体験も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、 祝日の翌日、年末年始、 その他館内整理日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「八王子と鉄道」Part 2 私鉄線(4.10～5.27) 八王子に敷設された私鉄に関する資料を展示します。 ●特別展「八王子の府立学校」(7.31～9.23) 戦前に八王子市内にあった府立学校について紹介します。 <p>【URL】 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/rekishibunkazai/kyodoshiryokan/index.html</p>					

9	集合住宅歴史館 (独立行政法人都市再生機構技術研究所) (042-644-3751)				
	歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。				
開館時間	13:30～16:30	休館日	土曜日～月曜日、祝日 第1、第3金曜日、年末年始	入館料	無料 ※事前予約制
<p>日本住宅公団昭和30年代の団地や同潤会アパートなどを移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。併設の研究施設も一部見学可能です。※事前予約制。予め電話かホームページで。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別公開(5.18・19) 未公開施設も一部開放し、ガイドツアーや外部有識者の講演、及び、研究成果の展示等を行います。特別公開は予約不要です。 <p>【URL】 http://www.ur-net.go.jp/rd/</p>					

10	福生市郷土資料室 (042-530-1120)				
	考古・民俗資料から、福生の成り立ちと歩みを探る。				
開館時間	10:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展示「明治時代の錦絵 一周延が描いた江戸」(～4.15) 浮世絵師楊洲周延(ようしゅううちかのぶ)の作品を中心に、明治時代の錦絵等約100点を展示しています。 ●企画展示「福生市の成り立ちと人々の歩み」(4.21～7.8) 縄文時代から昭和まで、実物資料や模型などを使い、通史的に福生の歴史を紹介します。 ●企画展示「平和のための戦争資料展」(7.14～10月上旬) 福生市郷土資料室では、毎年終戦の日に合わせて戦争関連資料の展示を行っています。福生に残された戦争関係資料から、平和について再認識することを目的とした展示会です。 <p>【URL】 http://www.museum.fussa.tokyo.jp</p>					

20	パルテノン多摩歴史ミュージアム (042-375-1414)				
	多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。				
開館時間	10:00～18:00	休館日	不定休(4.17・18、5.16・17、 6.12・13、7.10～12、8.7～ 9、9.11・12は施設点検日のため休館)	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「聖地をめぐる行者と庶民」(～5.27) 行者と庶民といった双方の視点から、聖地をめぐる信仰を振り返る。※関連講座実施(4～5月中旬に4回) ●企画展①「蝶たち、東京へくる」(～7.9) 本来東京都内にいなかったが、現在では見られる蝶と蛾を紹介する。※関連ワークショップ実施(4～6月中旬に3回) ●企画展②「多摩に疎開してきた子どもたち(仮)」(7.13～11.12) ●多摩のいきもの探検隊(年3回)(5.15) ●古文書講座解読実践コース(5月～12月予定 全12回) ●みんなの植物観察会(4～6月、9～3月 全10回) ●植物観察会ステップアップコース(毎月第4木曜日) ●植物観察会ステップアップコース(4～6月、9～11月、1月、3月 全8回) ●その他 植物標本整理、古文書解読、定点撮影、石仏調査会、くらしの調査団などのボランティア、子どもと親子の体験室「キッズファクトリー」も活動中。 <p>【URL】 http://www.parthenon.or.jp/museum/</p>					

21	東京都埋蔵文化財センター (042-373-5296)				
	都内各地の埋蔵文化財を展示。遺跡公園「縄文の村」も。				
開館時間	9:30～17:00 (ただし遺跡庭園 は11月～3月は16:30に閉館)	休館日	12.29～1.3 3.15～3.19	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●縄文ワクワク体験祭り(5.3・4) ●縄文の村自然観察会(①5.21 ②10.21) ●縄文アクセサリー教室(①6.23 ②③8.2 ④⑤8.11 ⑥10.27) ●古代糸作り教室(6.30) ●親子縄文土器作り教室(7.21・22) ●親子古代糸作り教室(7.25) ●トンボ玉作り教室(7.28、8.18) ●親子火おこし体験(8.4) ●縄文土器作り教室(5/19) <p>【URL】 http://www.tef.or.jp/maibun/</p>					

22	町田市立博物館 (042-726-1531)				
	考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 展示替期間 資料整理期間 館内整理期間(5.7～7.6)	入館料	7月から有料
<ul style="list-style-type: none"> ●「一本町田遺跡公園リニューアル・オープン記念 一本町田遺跡と町田の縄文時代」(～5.6) 東京都指定史跡・本町田遺跡公園は2007年度より再整備を進めてまいりました。本展覧会では公園の再整備完了を記念して、初公開資料も含めた本町田遺跡出土の土器・石器を展示するとともに、「遺跡の宝庫」と呼ばれる町田市で出土した縄文時代各時期の土器・石器類も併せてご覧いただけます。 ●「蓮-Lotus Land-」(7.7～9.9) 蓮と蓮をめぐるアジアの文化(美術工芸)を紹介する展覧会。第1部「蓮の不思議」→植物としての蓮や衣食の素材として使われて来た様子を紹介。第2部「美術工芸に見る蓮」→アジアで培われてきた蓮の象徴性、蓮のない西洋があこがれた蓮のイメージを美術工芸品を通じて紹介。 ●「ボヘミアガラス」(仮称)(9.29～11.25) 18世紀から20世紀にいたるボヘミア(チェコ)のガラスを、基本的には制作年代順に技法ごとに紹介する展覧会。 <p>【URL】 http://www.city.machida.tokyo.jp/</p>					

23	府中市郷土の森博物館 (042-368-7921)				
	府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3、年末年始	入館料	大人200円 4歳～中学生100円
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「武蔵府中の板碑」(4.14～7.1) 府中市の板碑を素材に中世社会を考えます。 ●企画展「府中メモリアル」(4.28～6.24) 府中市にまつわる様々な記念品を紹介します。 ●企画展「ANZAI-SHO・行在所～田中三四郎家と明治天皇～」(仮題)(7.14～10.8) ●特別展「あしもとネイチャーワールド 多摩の動物」(仮題)(7.21～9.2) ●「郷土の森あじさいまつり」(6.9～7.8) 園内に咲き乱れるあじさいの花をお楽しみください。 <p>【URL】 http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html</p>					

11	瑞穂町郷土資料館 (042-568-0634)				
	瑞穂町の歴史と民俗資料を展示。囲炉裏端の再現も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日、毎月16日 (16日が月曜日の場合は17日) 祝日、12.29～1.3	入館料	無料
<p>●常設展示(通年) 瑞穂町郷土資料館では、囲炉裏端や養蚕農家の模型など、昭和30年代頃の瑞穂町の暮らしを再現し、現代では見られない民具・農具から玩具や生活用具など展示しております。 また、瑞穂町の伝統工芸品である村山大島紬や多摩だるまなどの関連資料や狭山丘陵に生息する動植物、および狭山丘陵周辺の遺跡から出土した旧石器や縄文土器などを展示しています。</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.town.mizuho.tokyo.jp/shisetsu/kyoudo-tosyo.html</p>					

12	武蔵村山市立歴史民俗資料館 (042-560-6620)				
	武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日 (祝日の場合は翌日) 12.28～1.3 臨時休館(6.18～6.25)	入館料	無料
<p>●年中行事展「端午の節供」(4.21～5.10) ●企画展「村のくらしー膳椀組をとおしてー」(5.19～6.17) ●年中行事展「七夕飾り」(7.1～8) ●こども企画展「原始・古代のものづくり」(7.21～8.31) ●こども体験教室「石器を作ろう」(8.4) ●「星空観察会」(8.18)</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html</p>					

13	立川市歴史民俗資料館 (042-525-0860)				
	立川の歴史や文化、自然風土を紹介。幸町には茅葺きの古民家も。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.28～1.4	入館料	無料
<p>原始から近現代の立川、自然、くらしと道具に関する資料を紹介する常設展示。 ●ミニ企画展「端午の節句展」(4.7～5.6) 幸町の古民家園でも展示。 ●企画展「多摩地区と我が家の戦争・戦後の記録」(7.10～7.22) ●企画展「立川の遺跡2012」(7.31～9.2)</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.city.tachikawa.lg.jp/cms-sypher/www/section/detail.jsp?id=154</p>					

14	日野市郷土資料館 (042-592-0981)				
	日野の歴史・民俗・自然を体験できる資料館。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●企画展「暮らしの道具と新収蔵品展」(～4.15) ●企画展「真慈悲寺と発掘調査の記録」(4.21～7.29) ●郷土資料館まつり(6.10) 資料館で調査研究中の事業の発表や講座等 ●勝五郎生まれ変わり物語 夏休み子ども講座(7月下旬) ●石田散葉作り講座第1回(7.28) ミゾソバ採取 土方資料館見学等 第2回(8.25) ●企画展「日野の農業と水車の歴史」(8.4～10.28)</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.city.hino.tokyo.jp/museum/</p>					

15	東大和市立郷土博物館 (042-567-4800)				
	東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムもある。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料 (プラネタリウムは有料)
<p>●ロビー展「狭山丘陵で学んだよ」(～5.6) 小学生のフィールドワークの成果を展示。 ●収蔵資料展VOL.8「やきものの民具」(～6.17) 食器や火鉢など陶磁器類の集成。 ●プラネタリウム投影//春番組「太陽のかくれんぼ」(～6.10)/春のこども番組(～6.10の土・日・祝)/夏番組(6.16～9.9)/七夕特別番組(7月) ●その他各種講座を随時開催</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.city.higashiyamato.lg.jp</p>					

16	東村山ふるさと歴史館 (042-396-3800)				
	「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。				
開館時間	9:30～17:00(入館は16:30まで)	休館日	月・火曜日(祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館)	入館料	無料
<p>●企画展「町の記録が語る戦時中の東村山」(4.28～7.8) 戦時中の東村山を、陸軍少年通信兵学校等軍施設・東村山にきた疎開・防空と空襲・召集・銃後などの項目に分け、「町の記録」を用いて明らかにします。全国的に残存例の少ない「兵事関係書類」や墜落したB29の部品、疎开学園至近に落ちた不発弾処理の写真などを展示。 ●企画展「Gomi(ゴミ)×3R+R」(7.21～9.17) 今年50周年を迎えた、東村山市内にあるゴミ処理施設秋水園の歴史を辿りながら、「ゴミ」について考えます。3R(リデュース・リユース・リサイクル)について様々な取り組み方を紹介しながら、R(ゴミと秋水園の歴史)について展示します。 ●東村山の伝統工芸「押絵体験」(4.27) 10:00～12:00 ●八国山たいけんの里 住所:東村山市野口町3-48-1 電話:042-390-2161</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/</p>					

17	国立ハンセン病資料館 (042-396-2909)				
	ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。				
開館時間	9:30～16:30(入館は16:00まで)	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料
<p>●春季企画展「青年たちの『社会復帰』—1950-1970—」(4.28～7.29) 本展では、昭和30年代を中心に「社会復帰」をめぐる議論や運動、政策を紹介し、同時代に「社会復帰」を経験した青年たちの姿をお伝えします。またこれまでハンセン病をめぐる主として取り上げられてきた「療養所に生きる苦悩」に加えて、「療養所を出て生きる苦悩」に焦点をあて、改めて私たちの中に潜む差別と偏見の姿を聞きたいと思えます。</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.hansen-dis.jp/</p>					

18	くにたち郷土文化館 (042-576-0211)				
	国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。				
開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2、第4木曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●『紙の工芸展』(5.12～6.3) ちぎり絵・折り紙など紙を素材とした心和む作品展です。 ●企画展『くにたち写真展(仮)』(6.22～8.6開催予定) 国立市広報課が撮影した写真をもとに、くにたちの昭和から平成へ移りゆく、くにたちの姿を見ていきます。 ●古民家伝統行事 五月人形・鯉のぼり飾り(4.17～5.17)</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.kuzaidan.com/province/</p>					

19	たましん歴史・美術館 (042-574-1360)				
	多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。				
開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日 年末年始	入館料	100円
<p>●描かれた道-風景画展(4.10～6.10) ●たましん収蔵作品展(6.26～8.26)</p> <p style="text-align: right;">【URL】 http://www.tamashin.or.jp/</p>					

